



TOMORROW | Taiza Studio

2854 Taiza Tangocho Kyotango Kyoto 6270201  
tomorrowfield.org

PRESS RELEASE

2023年11月9日

箏パフォーマンス

「TWO TREES FOR KOTO」開催

作曲：楊嘉輝（サムソン・ヤン）

箏演奏：LEO



左：サムソン・ヤン、右：LEO

この度、あしたの畑の活動にかねてより参加している香港を拠点とするアーティスト・作曲家のサムソン・ヤンと箏奏者のLEOによるパフォーマンスを来る12月2日（土）に初披露します。

このパフォーマンスは、ヤンがLEOのために作曲した新譜であり、古典演奏から現代のテクノロジーを取り入れた箏の可能性を最大限に広げる活動を行なっているLEOに共感したヤンとヤンのアートに感銘を受けたLEOとの1日限りの共作です。

開催場所は、かつて奈良に都が定まるまで大陸との交流が盛んだったであろう港のひとつ、間人港の近く、来秋、あしたの畑のギャラリーとしてオープン予定の元絹織物工場、卍 | SEI 間人です。

10月7日より開催している企画展「ECHO」を締めくくる箏パフォーマンスと、冬の丹後にぜひお越しください。

ぜひ、貴誌・貴社にてご紹介下さいますよう、宜しくお願い致します。尚、掲載用写真の貸出等、ご質問がございましたら、お問い合わせください。

## ABOUT

### 箏パフォーマンス「TWO TREES FOR KOTO」

2023年12月2日（土）午後2時－3時

卍 | SEI 間人（京丹後市丹後町間人3329）

主催：NPO法人TOMORROW、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

協力：NIPPON COLUMBIA CO.,LTD.



卍 | SEI 間人

箏の起源は、今から 2500 年前、春秋戦国時代の古代中国まで遡り、奈良時代（8 世紀）に唐代の中国から日本に伝わったとされている。神聖な楽器として祭祀で用いられ始め、宮廷音楽を通して愛好されてきた箏は、かつては絹糸の弦で演奏されていました。今回のパフォーマンス会場となる京丹後は、絹織物産業の日本最大の産地であり、舞台となるのは、近年まで機織り機が並んでいた織物工場の建物。作曲に際し、ヤンは中国と日本における箏の成り立ちについて丹念なりサーチを重ね、LEO が間人の地で演奏する箏曲を創作しました。

古代、海を通じて大陸との豊かな交流が繰り返された地で、日本と香港という二つの文化が再び織りなす協和をぜひこの機会にお楽しみください。

チケット：一般 2,500円（高・大学生1,500円）

定員：35名

お申し込み：11月13日（月）午前10時よりオンラインにてチケット発売開始。

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/021fs9jyphd31.html>

お問い合わせ：ECHO 事務局 TOMORROW（担当：岡本） / E-mail: info@tomorrow-jp.org

## CREATORS

### 楊嘉輝（サムソン・ヤン）

サウンド、パフォーマンス、映像、インスタレーションなど、様々な分野を横断し活動するアーティスト。2013年プリンストン大学で作曲の博士号を取得。第57回ベネチア・ビエンナーレに香港代表（2017年）。BMW Art Journey Award（2015年）、アルス・エレクトロニカ・サウンドアート&デジタルミュージック部門準優勝（2019年）、第1回ウリ・シグ賞（2020年）。

アーティストウェブサイト：<https://www.thismusicisfalse.com>



サムソン・ヤン

「Variations of 96 chords in space (Feat. William Lane)」2023年

### LEO

9歳より箏を始める。くまもと全国邦楽コンクール史上最年少となる16歳で最優秀賞・文部科学大臣賞受賞。2021年藤倉大委嘱新作の箏協奏曲を世界初演。ブルーノート東京、サマーソニックなど箏奏者としては異例のステージにも登場している。出光音楽賞（2019年）、神奈川文化賞未来賞（2019年）、横浜文化賞文化・芸術奨励賞（2023年）受賞。

アーティストウェブサイト：<https://www.leokonno.com>



LEO「GRID ON //GRID OFF」公演2023年



# ECHO

「TWO TREES FOR KOTO」

## 取材申込書

申込者	団体名				担当者名		
	住所						
	TEL				E-mail		
媒体	種別	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	フリーペーパー	
		WEB	その他 (	)			
	媒体名						
発行/放映日	年 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分						
取材内容	動画撮影 写真撮影 インタビュー その他 ( )						
備考	(特殊な機材の持ち込み、お客様が映る可能性、無人の状態での撮影など)						

### 注意事項

- ・企画書など掲載媒体・取材内容がわかる書類の提出をお願いいたします。
- ・掲載、放映、放送等に当たっては、指定クレジットを明記してください。
- ・撮影写真、映像、広報写真等は、目的外の使用はお控えください。

### お問い合わせ・お申し込み先

ECHO事務局 TOMORROW (担当：岡本) E-mail: info@tomorrow-jp.org



WEB  
<https://echo-tomorrowfield.com>

